

丹波篠山市立西紀中学校 学習や生活に関する学力向上プラン【第1学年】

【調査結果の概要】

全体的な状況

- ・市の学力調査では、国語・数学ともに全国平均値と同程度でした。
- ・生活状況調査において、全カテゴリーにおいて全国平均値を上回っています。ポイントの高かった3カテゴリーは「社会参画」、「充実感と向上心」、「先生のささえ」でした。ポイントの低かった3カテゴリーは「いじめのサイン」、「対人ストレス」、「生活習慣」でした。
- ・いじめの早期発見や、安心して学習が行える環境を整えるために相談体制の充実をはかるなど教職員一丸となって指導に当たっていききたいと思ひます。また、生活習慣を整えることは心身の成長に大きく関係しますので、生活指導にも当たっていききたいと思ひます。

課題と対応

国語 書く力を育むことで伸ばす読解力の育成

- ・市の学力調査において、教科全体の正答率が全国平均値と同程度でした。観点別にみると「知識・技能」が全国平均値を上回った一方で、「思考・判断・表現」に課題があることが明らかになりました。特に、文章を読んで自分の考えを作文するという問題についての正答率が低かったため、今後の取り組みとして、普段の授業や生活の中で自分の考えを書く場面を意図的に設け、作文の練習を繰り返し行いたいと考えています。国語の授業では、文章の構成や趣旨を理解する時間を十分に確保し、学んだ内容を自分の作文に活用できる生徒を育成していききたいと考えております。

数学 イメージ化する力の育成

- ・市の学力調査において、数学はおおむね全領域で全国平均値を上回る正答率を示し、基礎的な計算力に加え、「思考・判断・表現」といった活用力においても高い成果が見られました。特に、データの活用の領域では高い正答率が見られ、学習した知識を実生活に活かそうとする態度が定着していることがうかがえます。一方で、合同な図形の理解には課題が残っており、図形を裏返したり回転させたりしても、重なれば合同であるという概念の定着が不十分です。今後は、操作活動を取り入れた授業展開を通じて、図形の性質を体感的に理解させる工夫をしていききたいと考えています。

学習・生活習慣 家庭学習の定着

- ・生活状況調査の結果から、家庭学習の時間が短い生徒が見られることがわかりました。予習や復習を大切に、また自分で学習計画をたてられるように指導していききたいと思ひます。

【保護者・校区の方へのお願い】

市学力調査の結果から、国語・数学ともに全国平均値と同程度であることがわかりました。しかし、文字と式、整数の性質のポイントが全国平均値を大きく下回るなど、基礎となる学力に課題がある部分があります。苦手なことをコツコツと継続して習得することを目標に、家庭での学習に対してお子さまへのアドバイスをお願いします。また、「書くこと」の領域に課題が見られましたので、教科以外でも、自分の考えを文章にまとめ、説明するなどの作文指導に当たりたいと思ひます。

生徒の頑張りを認めながら、更なる成長を期待して教育活動に励んでいききたいと思ひます。今後、学校行事等を活用して保護者の皆さまや校区の方に、生徒の成長を見ていただける機会をつくっていかうと考えています。今後とも、西紀中学校の教育活動にご理解ご協力をお願いいたします。